

# ~KENSYU~

谷地南部小学校  
ICT 研修だより  
2022. 8. 18  
No.1 文責 伊藤

## 夏休み研修より

2学期が始まるというこの時期になって、ようやく第1号を発行していますことをお許ください。

8月9日に山形県教育センターで開催された ICT 活用研修会に参加してきました。今回は、校内でもっと有効に活用したいという私自身の課題から、ロイロノートスクールの活用について実践を交えて学んできました。特に、研修前に私が全く分かっていなかったのは、ロイロノートの左側にある項目の下から2つ目のアレです。そう、「thinking tool」。恥ずかしながら、世の中にはどんなツールがあるかさえ分からず、活用の仕方などもっての外でした。しかし、研修資料の中にはまさにシンキングツールに関するものがあり、私の必要感にピシッと合致する研修となりました。(詳しくは、資料を参照ください。)

今回受講した研修は「初級編」だったので、ログインの仕方やカードの作り方から教えてもらいました。資料を「teams(ファイル)」「ロイロノート(資料箱)」「紙面(出席黒板下)」で共有できる状態にしていますので、自分に合った形でお使いください。また、今回の研修で使ったページに先生方の端末からも自由に入れるようになっていきますので、実際に見ることもできます。(講師の方からの許可もいただいています。)



以下のようにしてログインし、ご覧ください。

- ① ロイロノート右上の名前(私の場合、伊藤駿央となっているところ)を押して、一番下の「ログアウト」
- ② 「ロイロノートでログイン」を押して、

学校  ユーザーID  パスワード

余談ですが、私はドラマが大好きで、お気に入りのドラマを毎週録画にして見逃したものは週末にすべて見るというのが一週間の流れになっているのですが、今週火曜日放送だった「ユニコーンに乗って」がちょうど学校が舞台になったような内容だったのでご紹介します。山間の小さな学校で、ネット環境もやっと整ったような学校です。そこで先生が言っていたことが、私は胸に刺さりました。

「新しいことを取り入れて、これまでの指導方法を変えることに、少し怖さがあったんです。でも、それを理由に子ども達の将来を狭めるわけにはいきませんから。」

何でもかんでも ICT でなくて大丈夫です。資料提示を大型テレビにする、単元末に e-ライブラリで問題に取り組む時間を取る、感想を送るなど。先生方ができることから構いません。でも、大人の苦手が子どもの伸びを妨げてはいけない気もします。まずは、先生方が触ってみてください。そして、一度取り入れてみてください。わからないことがあれば、研究部や五十嵐先生に聞いてください。小学校は「種まき」「芽出し」の時期なのだと思います。その芽を育てるかどうかは、個人や家庭の裁量だと思うので、いろんな種をどんどんまいていきましょう。導入さえすれば、子どもたちが勝手にできるようになります。

先生方、タブレットをたくさん使っていただきありがとうございます。夏休み中に少し時間があつたので、各学年のロイロノートのページを見せていただきました。学年に応じてたくさん取り組みが残されており、勉強になりました。昨年度からいくつかの研修会に参加し実践報告を見聞きしていますが、南部小の取り組みは先進校や研究指定校の取り組みと何も変わりません。自信をもって活用し、実践を蓄えていきましょう。

また、先生方もお時間のある時に、「他の先生の授業」からいろんな学年の取り組みをご覧になってください。「閉講した授業」から昨年度の取り組みも見られますのでご活用ください。さらに、山形県教育センターの HP には、各校の実践事例集も掲載されていますので参考にしてみてください。